

令和8年度 市立上溝中学校給食配膳室修繕

■ 図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
建築			電気設備			機械設備		
A-01	表紙・図面リスト	N.S.	E-01	電気設備特記仕様書	N.S.	M特-01	特記仕様書(1)	N.S.
特-01	共通特記仕様書	N.S.	E-02	E棟配膳室電気設備図(改修)	1/50	M特-02	特記仕様書(2)	N.S.
改特-01	改修特記仕様書(1)	N.S.	E-03	E棟配膳室(旧生徒会室)電気設備平面図(撤去)	1/50	M特-03	特記仕様書(3)	N.S.
改特-02	改修特記仕様書(2)	N.S.	E-04	構内配電線路図(改修)	1/250	P-E01	給排水衛生設備【E棟】1階配膳室平面詳細図 【改修前・改修後】	1/50
改特-03	改修特記仕様書(3)	N.S.	E-05	弱電設備 1階平面図	1/100	M-E01	空調・換気設備【E棟】機器表(1)【撤去/新設】	N.S.
改特-04	改修特記仕様書(4)	N.S.	E-06	電話設備仕様書・姿図(改修)	N.S.	M-E02	空調・換気設備【E棟】機器表(1)【撤去/新設】	N.S.
改特-05	改修特記仕様書(5)	N.S.				M-E03	空調・換気設備【E棟】1階配膳室平面詳細図 【改修前・改修後】	1/50
改特-06	改修特記仕様書(6)	N.S.				P-H01	給排水衛生設備【給食配膳室】平面詳細図 【改修前・改修後】	1/50
改特-07	改修特記仕様書(7)	N.S.				M-H01	空調・換気設備【給食配膳室】機器表(1)【撤去/新設】	N.S.
改特-08	改修特記仕様書(8)	N.S.				M-H02	空調・換気設備【給食配膳室】機器表(1)【撤去/新設】	N.S.
改特-09	改修特記仕様書(9)	N.S.				M-H03	空調・換気設備【給食配膳室】給食配膳室平面詳細図 【改修前】	1/50
改特-10	改修特記仕様書(10)	N.S.				M-H04	空調・換気設備【給食配膳室】給食配膳室平面詳細図 【改修後】	1/50
改特-11	改修特記仕様書(11)	N.S.						
改特-12	改修特記仕様書(12)	N.S.						
改特-13	改修特記仕様書(13)	N.S.						
A-02	案内図・配置図・工事概要	N.S.						
A-03	仮設計画図(参考図)	1/500						
A-04	E棟【既存】生徒会議室平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50						
A-05	E棟【改修】配膳室平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50						
A-06	【既存・改修】建具表	1/50						
A-07	【既存】給食配膳室平面詳細図・天井伏図	1/50						
A-08	【改修】給食配膳室平面詳細図・天井伏図	1/50						

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office 〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201 1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号 TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344 1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号 A-01
	R8.03						図面名称	表紙・図面リスト		
							縮尺	A1:N.S. A3:N.S.		

共通特記仕様書

1. 工事概要	
1. 工事名称	名称：市立上溝中学校給食配膳室修繕
2. 工事場所	相模原市中央区横山5-19-54
3. 建物概要	(1) 建物名称：相模原市立上溝中学校 (2) 構造 E棟：鉄筋コンクリート造3階建 既存給食配膳室棟：鉄骨造 平屋建
(3) 延床面積 E棟新設配膳室： 63.6㎡（改修面積） 既存給食配膳室棟： 94.3㎡（延床面積）	
(4) 敷地面積：57,322㎡	
(5) 用途地域：第一種中高層住居専用地域	
(6) 防火指定：準防火地域	
(7) 埋蔵文化財包蔵地（○該当 遺跡No（ 125 ））	
4. 工事種目・内容	・新規配膳室の整備（E棟 1階旧生徒会議室）：約63.6㎡ ・既存給食配膳室の整備（既存給食配膳室棟）：約94.3㎡

II. 工事契約関係	
2-1 工事区分	工事目的物を建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事及び空調調和設備工事等に分割して発注する場合の区分表は、別添「工事区分表」による。
2-2 用語の定義	「監督員」とは、相模原市請負工事監督規程による監督員をいい、統括監督員及び担当監督員をいう。 「契約条項」とは、相模原市工事請負契約書の契約条項をいう。
2-3 工事実績情報（CORINS）の登録	受注者は、契約金額500万（税込）以上の工事を締結した場合、（一財）日本建設情報総合センターへ工事実績情報の登録をしなければならない。 登録は、登録（受注登録・変更登録・竣工登録）が必要な時期に速やかに実施すること。
2-4 施工体制台帳及び施工体系図の作成	受注者は、下請契約を締結したときは、施工体制台帳を作成し現場に据え置かなければならない。 また、併せて施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
2-5 質疑に対する協議	設計図書に疑義が生じた場合は、監督員と協議を行い承諾を得てから施工を行う。
2-6 施工図等	1 受注者は施工に先立ち、工事に関連する部分の実測を行った上で設計図書との照合を行い、所定の寸法が確保できることを確認する。なお、寸法等の変更を要する箇所が生じた場合には監督員に報告するとともに、施工図、製作図等を作成し監督員の承諾を受けること。 2 製作、発注物品の同等確認等は製作・発注前に必ず監督員の承諾を受けること。 3 施工上の納まり、取合い等の関係で簡易な調整を行う場合は、監督員との協議による。
2-7 工事の一時中止に係る事項	1 契約条項第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けること。 2 工事の施工を一時中止する場合には、工事の統行に備え工事現場を保全すること。
2-8 実施工程表の提出	1 受注者は、工事の着手に先立ち、別契約を含む施工上密接に関連する工事の関係者と調整のうえ、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。なお、契約金額が5,000万円以上の工事の実施工程表は、原則ネットワーク手法による。 2 実施工程表には、月毎の予定進捗率（％）を併記する。
2-9 工事写真	1 工事（工程）写真 (1) 工事（工程）写真については、営繕工事写真撮影要領 工事写真撮影ガイドブック 各工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）に準拠すること。 上記により難しい場合、監督員と協議し決定すること。 2 完成写真（契約条項第32条に基づく工事完成届に添付） (1) 工事着手前と完成後を同じアングルで撮影し、完成写真帳として見開きで比較できるよう整理する。 (2) 解体工事にあたっては、上記に加え地下埋設部分の施工写真を添付する。
2-10 発生材の処理等	1 建設副産物 (1) 建設副産物（コンクリート・アスファルト塊・路盤材） 「建設副産物適正処理推進要綱」による。 2 発生材 受注者は、関係法令に従い、受注者の責任において処分を行うものとする。また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）」において定める産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより管理するものとする。産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）で管理した場合は、A票及びE票が送付され次第、その原本を監督員に提示する。電子マニフェストで管理した場合は、運搬終了報告、処分終了報告、最終処分終了報告の通知が届き次第、その原本を監督員に提示する。
2-11 環境への配慮	1 使用する材料及び施工方法については、室内環境に配慮した選定を行い、室内環境に影響を与える可能性のある材料等については、監督員の指示により、その物性等の確認できる資料を提出する。

2-12 材料の品質等	2 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。以下「グリーン購入法」という。）により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 3 使用する材料の選定に当たっては、揮発生有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 4 工事に使用する材料は、石綿を含有しないものとする。
-------------	--

- 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、設計図書に定めのない材料は、当該現場で使用するほかの材料と比べてバランスの取れた材料とすること。なお、材料は、製造工場により品質管理がなされたものとする。
- 設計図書に定める材料については、材料の品質及び性能を有することの証明となる資料を監督員へ提出し、あらかじめ承諾を受けること。
ただし、下記の(1)～(4)に該当する場合は、この限りではない。

- 設計図書に定めるJ I S又はJ A Sの材料で、J I S又はJ A Sのマーク表示があるものを使用する場合
- あらかじめ、監督員の承諾を受けた材料を使用する場合
- 設計図書により指定された材料、製造者の製品を使用する場合
- 「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（契約時の最新版）」に記載されている評価材料を使用する場合（特記等で公共建築工事標準仕様書・公共建築改修工事標準仕様書の規定に基づく品質及び性能以外の材料を規定した場合は除く。）
- 設計図書において、指定された材料・製品等については、指定された材料・製品等を使用すること。ただし、種々の関係からやむを得ず同等以上の材料とする場合で、あらかじめ、材料の品質、性能等の証明となる資料等を示し、監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

2-13 材料検査	受注者は、材料の現場搬入の際、当該材料が設計図書に定められた仕様と適合していることを確認する。このうち、次に指定する材料については監督員の材料検査を受けるものとする。また、指定する材料以外のもので監督員が必要と認めた場合は材料検査を受けること。															
	<table> <tbody><tr> <th>工種</th> <th>指定する材料</th> <th>備考</th></tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td></tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td></tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td></tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td></tr> </tbody></table>	工種	指定する材料	備考												
工種	指定する材料	備考														

2-14 中間技術検査	技術検査（中間技術検査）は、次の場合に実施する。 (1) 中間技術検査を実施する段階及び回数が下記に記載された場合 <table> <tbody><tr> <th>実施する段階</th> <th>回数</th></tr> <tr> <td></td> <td></td></tr> <tr> <td></td> <td></td></tr> <tr> <td></td> <td></td></tr> <tr> <td></td> <td></td></tr> </tbody></table>	実施する段階	回数								
実施する段階	回数										
	(2) 施工途中における品質確認のため、監督員が必要と認めた場合										
	(3) 施工途中における事故等により、監督員が必要と認めた場合										
	(4) 低入札工事の場合										

2-15 引渡し物品等	受注者は、完成時に提出すること。なお、各物品の適用及び数量等は、以下による。		
○引渡し図面	サイズ	原因	屏風製本
完成図	() 部数 () 部		部数 () 部
完成図(縮小版)	(A3)	部数 () 部	部数 (1) 部
完成図の記入内容	※(表1.7.1)【表1.8.1】による ・ ()		
その他	○CAD、PDFデータの提出 ※CD等による ※屏風製本は正面及び背表紙面に 工事名称を記すこと。		
・引渡し物品	納品部数		
竣工写真	・2-16による		
建築物等の維持管理に関する説明書	・ () 部		
機器取扱い説明書	○ (2) 部		
機器性能試験成績書	○ (1) 部		
各種保証書・検査書及び成績表	○ (1) 部		
工事関係者一覧表	・ () 部		
官庁関係届出書類	・ () 部		
備品等 ()	・ () 部		

2-16 竣工写真	工事完成時に次の写真を撮影し、監督員に提出する。	
撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出数
・外観正面 () 箇所	カラー印刷紙キャビネ判	() 部
・外部 () 箇所	カラー印刷紙キャビネ判 A 4 アルバム縦じ※	() 部
・内部 () 箇所	電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	() 部
・外観正面 () 箇所	カラー木製パネル 半切(324×400mm)	() 部
4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの 建築完成写真撮影実績がある者で、監督員が承諾する撮影業者		
・外部 () 箇所	カラー印刷紙キャビネ判 A 4 アルバム縦じ※	() 部
・内部 () 箇所	電子データ (JPEGフルカラー)	() 部
1280×960ピクセル以上で、かつデジタルカメラの最高設定の画質 写真撮影者は、任意 注：※のアルバムは併せて作成する。		

2-17 足場	足場を設ける場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドラインについて（厚生労働省 令和5年12月26日）」の「手すり先行工法に関するガイドライン」による足場（手すり先行専用足場又は枠組み足場又はくさび緊結式足場）とする。 足場の組立、解体、変更の作業は、手すり先行工法により行うとともに、使用時には、枠組み足場（妻面を除く）にあつては、交さ筋かい＋幅木等＋上さん等（各両側）、枠組み以外の足場（枠組み足場の妻面を含む）にあつては、手すり等＋中さん等＋幅木等（原則各両側＋妻側）の機能を有するものを設ける又はこれらと同等以上の措置を講じるものとする。 なお設置については、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における「手すり据置方式」又は「手すり先行専用足場方式」により行うこと。 上記により難しい場合は、監督員との協議による。
---------	--

2-18 工事看板	1 工事現場には、公衆が見やすい場所に次の事項を記載した工事看板を表示する。 (1) 工事名称 (2) 工事期間 (3) 受注者及び連絡先 (4) 現場代理人氏名及び連絡先 (5) 工事概要 (6) 発注者及び連絡先 (7) 工事監理者及び連絡先 2 工事現場が複数にわたる場合にも、各現場に設置するものとする。ただし、これにより難しい場合は監督員との協議による。
-----------	--

2-19 施工中の安全確保及び環境保全	工事の施工中にあたっては、関係法令により、工事現場における標示施設等を設置すること。								
2-20 見本施工	見本施工の実施は、次に指定した内容について実施する。 <table> <tbody><tr> <th>工種</th> <th>指定する内容</th></tr> <tr> <td></td> <td></td></tr> <tr> <td></td> <td></td></tr> <tr> <td></td> <td></td></tr> </tbody></table>	工種	指定する内容						
工種	指定する内容								

2-21 電気保安技術者	電気保安技術者の配置については、現場説明書(3-(7))による。
2-22 履行報告	1 契約条項第11条に規定する履行報告は、工事履行報告書とし、提出の要・不要は、現場説明書(3-(8) 履行報告書)による。 2 記載内容は、次を標準とする。 (1) 工事総合進度（工程表及び契約課書式による。） (2) 当月の実施作業内容 (3) 現場写真 ア 外観 ※定点から撮影し、月毎の工事進捗状況を把握できるものとする。 イ 内観
2-23 契約不適合点検	契約条項第45条に規定する契約不適合責任に伴う、契約不適合点検の要・不要については、現場説明書(3-(9) 契約不適合点検)による。工事目的物の引渡しの日から1年以内（原則として引渡し日から起算して11か月を経過以降、12か月を経過する以前の期間）に工事目的物の、契約不適合点検の実施及び立会いを行う。 受注者は、契約不適合点検において、契約不適合があると認められたときは、契約条項のとおり、履行の追完等に対応すること。

2-24 設計変更	1 設計図書の内容の一部を訂正・変更（以下「設計変更」という。）により契約変更が必要となった場合には、契約条項第24条又は第25条の規定により手続きを行うこと。 2 設計変更の具体的な考え方等については、「相模原市請負工事設計変更ガイドライン（相模原市）」によるものとする。
-----------	--

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	共通特記仕様書		特-O 1
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	縮尺	A1:N.S. A3:N.S.		

各章共通事項	<p>I. 建築工事 改修特記仕様書</p> <p>(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の下記仕様書等のうち、現場説明書2ー(5)に□を付けたものを適用する。</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。</p> <p>(3) 本特記仕様書の表記</p> <p>1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と※印の付いた場合は、○を優先する。</p> <p>3) 特記事項に記載の表示について、()内表示番号は公共建築工事標準仕様書【 】内表示番号は公共建築改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>II. 工事契約関係</p>	<p>④ 事前調査 (1.5.1)</p> <p>5 技能士 (1.7.2)</p>	<p>せつこうボードの処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有せつこうボードの処理 処理方法は、【9.1.5】による。 ひ素・カドミウム含有せつこうボードの処理 処理方法 ・分別解体後解体した材料を製造業者に処分を委託 ・管理型最終処分場で埋め立て処分 その他のせつこうボードの処理 処理方法 ・再資源化(再資源施設) ・埋立処分(管理型最終処分場) <p>PCB含有シーリング材の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 有(数量) ○無 分析調査 ・要 ・不要(分析調査済) <p>① 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。</p> <p>調査範囲 (○改修範囲 ・図示)</p> <p>貸与資料 ()</p> <p>2 分析による石綿含有の調査</p> <p>分析方法 ・定性分析 ・定量分析</p> <p>調査箇所 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>技能検定の職種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック・ALCパネル</td> <td>・コンクリートブロック工事作業</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板工事</td> <td>・エーエルシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート ・トーチ防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・樹脂接着剤注入工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石張り作業 ・石積み作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・内外装板金作業 ・スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>・金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・吹付硬質ウレタンフォーム 断熱工事作業 ・壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカール工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table>	適用工事種別	技能検定の職種	仮設工事	・とび作業	鉄筋工事	・鉄筋組立て作業	コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	・とび作業	コンクリートブロック・ALCパネル	・コンクリートブロック工事作業	押出成形セメント板工事	・エーエルシーパネル工事作業	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート ・トーチ防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・樹脂接着剤注入工事作業	石工事	・石張り作業 ・石積み作業	タイル工事	・タイル張り作業	木工事	・大工工事作業	屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業	金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業	左官工事	・左官作業	建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業	塗装工事	・建築塗装作業	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・吹付硬質ウレタンフォーム 断熱工事作業 ・壁装作業	排水工事	・建築配管作業	舗装工事	・溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカール工事作業	植栽工事	・造園工事作業	<p>⑥ 室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.7.9)</p> <p>7 施工数量調査 (1.6.2) (1.6.3)</p> <p>8 埋設配管・配線および鉄筋調査 (1.6.1)</p> <p>② 仮設工事</p> <p>① 足場等 (2.2.1) (2.1.3) (表2.2.1)</p> <p>② 既存部分の養生 (2.3.1)</p>	<p>空気中に含まれるホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定を実施し、報告書により結果を報告する。</p> <p>試料採取方法は、吸引方式(アクティブ法)とし、1箇所当りの試料は2採取試料を同時採取する。また、分析は厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」に準ずる。</p> <p>測定の指定時期 ○工事完成時 ○(施工前)</p> <p>測定対象室 (施工前:生徒会室、工事完成時:配膳室)</p> <p>測定箇所数 (1) 箇所</p> <p>工種 ・ ()</p> <p>調査方法 ・ () 調査範囲 ・ ()</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ ()</p> <p>調査報告書 提出部数 ・ ()</p> <p>・あと施工アンカー工事 ※【6.6】及び【8.12】による</p> <p>・コア抜き、はつり工事等</p> <p>※ 既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 探査機(電磁波レーダー法又は電磁波誘導法)による探査配管・配線等の位置の検出を行う。 範囲 ※図示 ・ () 放射線透過試験(電気設備工事編(2.11.2)および機械設備工事編(4.1.2)による)労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」(昭和47年労働省令第41号)等に定めるところによるほか、次による。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 (2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。 (3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 (4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 (5) 躯体の露出しは、表裏でズレないように措置を講ずる。 <p>撮影枚数 枚</p> <p>フィルムサイズ</p> <p>コンクリート厚さ c m</p> <p>・外部足場 設置範囲 ()</p> <p>種別 ※枠組足場 ・くさび緊結式足場 ・ ()</p> <p>保護シートによる養生 ※行う ・行わない</p> <p>設置範囲 ※図示 ・ ()</p> <p>騒音、粉じん等の対策 ・行う ・行わない</p> <p>対策の方法 ・防音パネル ・防音シート</p> <p>設置範囲(防音パネルの場合) ・ ()</p> <p>○内部足場 設置範囲 ()</p> <p>種別 ※脚立、足場板等 ・ ()</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法</p> <p>・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種 (C種、D種の場合)利用可能な箇所 ※図示 ・ ()</p> <p>○既存部分の養生 範囲 ()</p> <p>方法 ※ビニルシート、合板等 ・ ()</p> <p>・既存家具、設備等の養生 範囲 ()</p> <p>方法 ※ビニルシート等 ・ ()</p> <p>・既存ブラインド、カーテン等の養生 範囲 ()</p> <p>方法 ※ビニルシート等 ・ ()</p> <p>保管場所 ・図示 ・ ()</p> <p>・固定された備品、机、ロッカー等の移動</p> <p>移動する物 ()</p> <p>移動先 ()</p>	<p>③ 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)</p> <p>4 監督員事務所等 (2.4.1)</p> <p>3 防水改修工事</p> <p>1 施工一般 (3.1.3)</p> <p>2 既存防水の処理 (3.2.3) (3.2.4) (3.2.6)</p> <p>3 既存防水層下地の処理 (3.2.6)</p> <p>4 アスファルト防水 (3.1.4) (表3.1.1) (表3.3.3) (表3.1.1) (表3.3.6) (表3.1.1) (表3.3.4) (表3.1.1) (表3.3.5) (3.2.6)</p>	<p>○仮設間仕切りの設置箇所</p> <p>※図示 ・ ()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>○軽量鉄骨</td> <td>・せつこうボード(9.5mm)</td> <td>○無し</td> <td>※有り</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>・木下地</td> <td>○合板(※9.0mm ・4.0mm)</td> <td>・片面</td> <td>○無し</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管下地</td> <td>防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>充填材:グラスウール32k (厚:50mm以上)</p> <p>○仮設間仕切りに設ける仮設扉の設置箇所等</p> <p>※図示 ・ ()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗 装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>○無し</td> <td>※有り</td> </tr> <tr> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・片面</td> <td>○無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>充填材:グラスウール32k (厚:50mm以上)</p> <p>※監督員事務所の設置の有無は、現場説明書(3-(4)ア)による。</p> <p>・規模 () m程度</p> <p>・仕上の程度 床: 内壁: 天井: 程度</p> <p>・備える設備 ※監督員と協議 ・電灯 ・給排水 ・設置する備品の種類及び数量</p> <p>・机 () ・椅子 () ・書棚 () ・黒板 ()</p> <p>・寒暖計 () ・ゴム長靴 () ・雨合羽 ()</p> <p>・保護帽 () ・懐中電灯 () ・安全帯 ()</p> <p>・受注者加入電話の子機 () ・衣類ロッカー ()</p> <p>・暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・掃除機等</p> <p>降雨等に対する養生方法</p> <p>※【3.1.3(5)(7)~(9)】による。 ・ ()</p> <p>既存保護層の撤去 ・行う(範囲・図示・行わない)</p> <p>既存防水層の撤去 ・行う(範囲・図示・行わない)</p> <p>露出防水層表面の仕上げ塗装除去</p> <p>・行う(・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X)</p> <p>・行わない</p> <p>既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 ・ ()</p> <p>POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置</p> <p>※【3.2.6(4)(7)(8)①~③】による。 ・ ()</p> <p>架台回り等の処置</p> <p>※図示 ・ ()</p> <p>・屋根保護防水工法</p> <p>・屋根保護防水絶縁工法 施工箇所 ()</p> <p>(改修工法) ・P1B (防水層種別) ・B-1 ・B-2</p> <p>・屋根保護防水密着工法 施工箇所 ()</p> <p>(改修工法) ・P2A (防水層種別) ・A-1 ・A-2 ・A-3</p> <p>・屋根保護防水絶縁断熱工法 施工箇所 ()</p> <p>(改修工法) ・P1B1 ・T1B1 (防水層種別) ・B1-1 ・B1-2</p> <p>・屋根保護防水密着断熱工法 施工箇所 ()</p> <p>(改修工法) ・P2A1 (防水層種別) ・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</p> <p>・既存下地の処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補修箇所の形状</th> <th>補修箇所の長さ</th> <th>補修箇所の数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材	・A種	○軽量鉄骨	・せつこうボード(9.5mm)	○無し	※有り	○B種	・木下地	○合板(※9.0mm ・4.0mm)	・片面	○無し	※C種	単管下地	防炎シート			材質	仕上げ	塗 装	充填材	※木製	※合板張り程度	○無し	※有り	・()	・()	・片面	○無し	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
	適用工事種別		技能検定の職種																																																																																										
仮設工事	・とび作業																																																																																												
鉄筋工事	・鉄筋組立て作業																																																																																												
コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業																																																																																												
鉄骨工事	・とび作業																																																																																												
コンクリートブロック・ALCパネル	・コンクリートブロック工事作業																																																																																												
押出成形セメント板工事	・エーエルシーパネル工事作業																																																																																												
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート ・トーチ防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・樹脂接着剤注入工事作業																																																																																												
石工事	・石張り作業 ・石積み作業																																																																																												
タイル工事	・タイル張り作業																																																																																												
木工事	・大工工事作業																																																																																												
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業																																																																																												
金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業																																																																																												
左官工事	・左官作業																																																																																												
建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																																																																												
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業																																																																																												
塗装工事	・建築塗装作業																																																																																												
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・吹付硬質ウレタンフォーム 断熱工事作業 ・壁装作業																																																																																												
排水工事	・建築配管作業																																																																																												
舗装工事	・溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカール工事作業																																																																																												
植栽工事	・造園工事作業																																																																																												
種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材																																																																																									
・A種	○軽量鉄骨	・せつこうボード(9.5mm)	○無し	※有り																																																																																									
○B種	・木下地	○合板(※9.0mm ・4.0mm)	・片面	○無し																																																																																									
※C種	単管下地	防炎シート																																																																																											
材質	仕上げ	塗 装	充填材																																																																																										
※木製	※合板張り程度	○無し	※有り																																																																																										
・()	・()	・片面	○無し																																																																																										
補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																																																											
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																											
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																											
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																											
概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕	図面番号																																																																																			
	R8.03							図面名称	改修特記仕様書(1)	縮尺 A1:N.S. A3:N.S.																																																																																			
										改特-O1																																																																																			

<p>(3.2.6)</p> <p>・既存下地の処理</p> <table border="1"> <tr> <th>補修箇所の形状</th> <th>補修箇所の長さ</th> <th>補修箇所の数量</th> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>(3.5.2)</p> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>・種類 () 厚さ ()</p> <p>※【表3.5.3】による</p> <p>(表3.5.3)</p> <p>モルタルの塗厚 ()</p> <p>(表3.1.1)</p> <p>保護層の新設 ・有 (厚さ) ・無</p> <p>※こて仕上げの場合、水下で80mm以上</p> <p>床タイル張り等の仕上げの場合、水下で60mm以上</p> <p>(3.5.4)</p> <p>立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・ ()</p>	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	<p>(3.7.8)</p> <p>シーリング材の接着性試験</p> <p>※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>9 とい (3.8.2) (表3.8.1)</p> <p>・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管</p> <p>・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ステンレス管</p> <p>・表面処理鋼板 ・ ()</p> <p>表面処理鋼板の表面及び裏面の塗膜の種類 ()</p> <p>・この径 ()</p> <p>・この受金物及び足金物の材種、形状および取付け間隔</p> <p>※【表3.8.2】による ・ ()</p> <p>防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()</p> <p>(3.8.3)</p> <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法</p> <p>() ・図示</p> <p>鋼管製といの防露巻き工法</p> <p>※【表3.8.4】による ・ ()</p> <p>たてどい受金物の取付け工法</p> <p>・ () ・図示</p> <p>ルーフドレンの取付け工法</p> <p>※【3.8.3(6)】による ・ ()</p> <p>10 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (表3.9.1)</p> <p>構成部材による種類</p> <p>・オープン形式 押出形 (・250形 ・300形 ・350形 ・100形)</p> <p>・オープン形式 板材折曲げ形 (本体幅: (mm) 板厚: ※2.0mm ・ (mm))</p> <p>・シール形式 板材折曲げ形 (本体幅: (mm) 板厚: ※2.0mm ・ (mm))</p> <p>・付属部品の材料 板材曲げ形 ()</p> <p>・役物 板材曲げ形 (本体幅: (mm) 板厚: (mm))</p> <p>(3.9.2) (表5.2.2)</p> <p>表面処理 種別 () 種 皮膜等の種類 ()</p> <p>着色 ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)</p> <p>(3.9.3)</p> <p>既存笠木等の撤去 ・行う (範囲 ※図示 ・ ())</p> <p>・行わない</p> <p>新規アルミニウム製笠木の地下補修の工法</p> <p>・図示 ・ ()</p> <p>板材折曲げ形の笠木の取付方法</p> <p>・図示 ・ ()</p> <p>笠木の固定金具の工法等</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法</p> <p>※建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・ ()</p>	<p>4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁</p> <p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.2.5)</p> <p>・樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0以下</td> <td>※200～300</td> <td>・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満</td> <td>・50～100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上～0.5未満</td> <td>・100～200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上～1.0以下</td> <td>・150～250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>注入量: 多少樹脂が残った状態: 隣のパイプから樹脂が出た状態</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認方法</p> <p>・行う (※コアの抜き取り ・ ())</p> <p>・行わない (コアの抜き取りによる場合)</p> <p>抜き取り個数</p> <p>※長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ ()</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示 ・ ()</p> <p>・リカットシール材充填工法</p> <p>充填材料 (・シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂) (シーリング材による場合)</p> <p>種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ ()</p> <p>ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・シール工法</p> <p>充填材料 (・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂)</p> <p>※充填工法 ・ () (充填工法の場合)</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル充填工法</p> <p>・ポリマーセメントモルタル充填工法</p> <p>4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>1 ひび割れ部改修工法 (4.3.2)</p> <p>既存モルタル塗りの撤去</p> <p>・行う (※ 全面 ・図示の範囲)</p> <p>ひび割れ部の改修工法</p> <p>・樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0以下</td> <td>※200～300</td> <td>・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満</td> <td>・50～100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上～0.5未満</td> <td>・100～200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上～1.0以下</td> <td>・150～250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>注入量: 多少樹脂が残った状態: 隣のパイプから樹脂が出た状態</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認方法</p> <p>・行う (※コアの抜き取り ・ ())</p> <p>・行わない (コアの抜き取りによる場合)</p> <p>抜き取り個数</p> <p>※長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ ()</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示 ・ ()</p> <p>(4.2.6) (4.3.7) (4.2.4)</p> <p>・リカットシール材充填工法</p> <p>充填材料 (・シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂) (シーリング材による場合)</p> <p>種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ ()</p> <p>ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>(4.2.7) (4.3.8)</p> <p>・シール工法</p> <p>充填材料 (・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂)</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70		0.5以上～1.0以下	・150～250	・130	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70		0.5以上～1.0以下	・150～250	・130	<p>2 欠損部改修工法 (4.3.3) (4.3.9) (4.2.8)</p> <p>ひび割れ部改修後の、モルタル撤去部分の補修工法</p> <p>・充填工法</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル充填工法</p> <p>・ポリマーセメントモルタル充填工法</p> <p>(4.3.10) (4.3.5)</p> <p>・モルタル塗替え工法</p> <p>・現場調査材料 ※【4.3.10】による。</p> <p>・既調査材料 ()</p> <p>既製目地材 ・使用する (形状)</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・ ()</p> <p>3 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.4)</p> <p>浮き部改修工法の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">7カービンの本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>(4.3.11) (4.3.12) (4.3.13) (4.3.14) (4.3.15) (4.3.16) (4.3.9) (4.3.10) (4.3.5)</p> <p>ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <td>広がり速度 (cm/s)</td> <td>3以上</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率 (収縮)</td> <td>3% 以下</td> </tr> <tr> <td>引張接着性 (材齢28日)</td> <td>0.49N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>曲げ性能 (材齢28日)</td> <td>4.9N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>吸水性 (72時間)</td> <td>15% 以下</td> </tr> <tr> <td>耐久性 (劣化曲げ強さ)</td> <td>5.0N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>保水係数</td> <td>0.35～0.55</td> </tr> <tr> <td>粘調係数</td> <td>0.50～1.00</td> </tr> </table> <p>アンカーピンの材質等</p> <p>・アンカーピンニング注入工法用のアンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。</p> <p>・ ()</p> <p>・注入口付アンカーピンニング注入工法用の注入口付アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径6mm程度</p> <p>・ ()</p> <p>(4.3.9) (4.3.10)</p> <p>充填工法の材料による工法種別</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル充填工法</p> <p>・ポリマーセメントモルタル充填工法</p> <p>モルタル塗替え工法</p> <p>現場調査材料 ※【4.3.10】による。</p> <p>既調査材料 ()</p> <p>既製目地材 ・使用する (形状)</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・ ()</p> <p>検査 (ストローク試験)</p> <p>・行わない ・行う</p> <p>試験・確認事項</p> <p>①使用する「ストローク」の20ストロークの樹脂重量を測定し、その値から1ストロークの樹脂重量を決定する。</p> <p>②試験は同一の機器にて3回行い、その平均値を求める。</p> <p>③30gあたりの所要ストローク数を確認する。</p>	工法の種類	7カービンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	広がり速度 (cm/s)	3以上	長さ変化率 (収縮)	3% 以下	引張接着性 (材齢28日)	0.49N/mm ² 以上	曲げ性能 (材齢28日)	4.9N/mm ² 以上	吸水性 (72時間)	15% 以下	耐久性 (劣化曲げ強さ)	5.0N/mm ² 以上	保水係数	0.35～0.55	粘調係数	0.50～1.00
	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																																																																																														
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	・130																																																																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40																																																																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70																																																																																																																														
	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130																																																																																																																														
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	・130																																																																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40																																																																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70																																																																																																																														
	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130																																																																																																																														
工法の種類	7カービンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																													
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																												
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																												
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																												
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																												
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																												
広がり速度 (cm/s)	3以上																																																																																																																																
長さ変化率 (収縮)	3% 以下																																																																																																																																
引張接着性 (材齢28日)	0.49N/mm ² 以上																																																																																																																																
曲げ性能 (材齢28日)	4.9N/mm ² 以上																																																																																																																																
吸水性 (72時間)	15% 以下																																																																																																																																
耐久性 (劣化曲げ強さ)	5.0N/mm ² 以上																																																																																																																																
保水係数	0.35～0.55																																																																																																																																
粘調係数	0.50～1.00																																																																																																																																
<p>7 塗膜防水 (3.1.4)</p> <p>・塗膜防水工法</p> <p>防水層の種類</p> <p>・ウレタンゴム系塗膜防水 施工箇所 ()</p> <p>(改修工法) ・P O X ・L 4 X</p> <p>(防水層種別) ・X-1 (絶縁工法) ・X-2 (密着工法)</p> <p>(表3.6.2) ・X-1 H (絶縁工法) ・X-2 H (密着工法)</p> <p>・ゴムアスファルト系塗膜防水 施工箇所 ()</p> <p>(改修工法) ・P 1 Y ・P 2 Y</p> <p>(表3.6.3) (防水層種別) Y-2</p> <p>改修用ルーフドレンの設置 (P O X工法の場合)</p> <p>・有 ・無</p> <p>(3.2.6)</p> <p>・既存下地の処理</p> <table border="1"> <tr> <th>補修箇所の形状</th> <th>補修箇所の長さ</th> <th>補修箇所の数量</th> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>(表3.6.1)</p> <p>仕上塗料の種類及び使用量 (X-1、X-2の場合)</p> <p>種類 ()</p> <p>使用量 ※主材料の製造所の仕様による ・ ()</p> <p>(3.6.3)</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 (絶縁工法の場合)</p> <p>種類 ※主材料の製造所の仕様による</p> <p>・ ()</p> <p>設置数量 ※主材料の製造所の仕様による</p> <p>・ ()</p> <p>(表3.1.1)</p> <p>保護層の適用 (P 1 Y、P 2 Yの場合)</p> <p>・有 (厚さ) ・無</p> <p>(表3.6.3)</p> <p>工程5の保護層の仕様 ()</p> <p>※保護モルタルとした場合、工程4の絶縁シートは省略</p> <p>8 シーリング (3.1.4) (3.7.2) (表3.1.2) (3.7.3) (表3.7.1) (3.7.4)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">シーリング材の目地寸法及び種類</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>目地寸法</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>・シーリング再充填工法</p> <p>シーリング材の目地寸法及び種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>目地寸法</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>・拡幅シーリング再充填工法</p> <p>シーリング材の目地寸法及び種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>目地寸法</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>・ブリッジ工法</p> <p>シーリング材の目地寸法及び種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>目地寸法</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	シーリング材の目地寸法及び種類			施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 (1.6.2～1.6.3)</p> <p>調査範囲</p> <p>・図示 ・ ()</p> <p>調査方法</p> <p>・ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。</p> <p>・モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を壁面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。</p> <p>・コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。</p> <p>塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。</p> <p>・ ()</p>	<p>概要</p> <p>設計年月日 R8.03</p> <p>変更年月日</p> <p>検印</p> <p>設計</p> <p>製図</p> <p>有限会社 北山建築設計事務所</p> <p>KITAYAMA Architectural Engineering Office</p> <p>TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344</p> <p>〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201</p> <p>工事名称 市立上溝中学校給食配膳室修繕</p> <p>1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号</p> <p>1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸</p> <p>図面名称 改修特記仕様書(3)</p> <p>縮尺 A1:N.S. A3:N.S.</p> <p>図面番号 改特-O3</p>																																																																												
補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
シーリング材の目地寸法及び種類																																																																																																																																	
施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																															

3	外壁用塗膜防水材 (4.7.2) (表4.7.1)	<p>上塗材の種類 耐候性 () 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</p> <p>・外壁用塗膜防水材仕上げ 施工箇所 () 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法 ・吹付け工法 (・凹凸状 ・凸部処理) ・ローラー工法 (・ゆず肌状 ・さざ波状) 外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量 種類 ・ウレタンゴム系 ・アクリルゴム系 ・ () 耐候性 () 下地挙動緩衝材の適用 ・有 ・無</p> <p>模様材の種類 ・吹付け工法 (凹凸状又は凸部処理) の場合 模様材の種類 () ・吹付け工法 (凹凸状又は凸部処理) で仕上げをじゅらく状等とする場合 模様材の種類 ()</p>	<p>2 アルミニウム製建具 (5.2.2) (表5.2.1)</p> <p>アルミニウム製建具の性能値等 ・耐風圧性 (S-) 気密性 (A-) 水密性 (W-) 枠の見込み寸法 ※【表5.2.1】による ・ () 外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による ・ ()) ・B種 (建具符号: ・建具表による ・ ()) ・C種 (建具符号: ・建具表による ・ ()) (C種の場合) 枠の見込み寸法 ()</p> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 (T-) 建具符号: ・建具表による ・ () ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 遮音性の等級 (T-) 建具符号: ・建具表による ・ ()</p> <p>(5.2.3)</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材種</th><th>線径</th><th>網目</th></tr> <tr><td rowspan="3">・防虫網</td><td>※合成樹脂製</td><td>※0.25mm以上</td><td>※16~18</td></tr> <tr><td>・ガラス繊維入り合成樹脂製</td><td>・ ()</td><td>メッシュ</td></tr> <tr><td>・ステンレス (SUS316) 製</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr> <tr><td>・防鳥網</td><td>ステンレス (SUS304) 線材</td><td>1.5mm</td><td>網目寸法 15mm</td></tr> </table> <p>(5.2.4) (表5.2.2)</p> <p>表面処理の種別及び標準色・特別色の別等 表面処理の種別 ・A B-1種 ・A B-2種 ・A C-1種 ・A C-2種 ・B A-1種 ・B A-2種 ・B B-1種 ・B B-2種 ・B C-1種 ・B C-2種 ・C種 標準色、特別色の別等 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) (種別C種の場合) 常温乾燥形の塗装による ・ () くつずりの仕上げ ※H L (スチル鋼板の場合) ・ ()</p> <p>(5.2.5)</p> <p>水切り板、ぜん板 ・図示 ・ ()</p>	種類	材種	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18	・ガラス繊維入り合成樹脂製	・ ()	メッシュ	・ステンレス (SUS316) 製	・ ()	・ ()	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm	<p>(表5.2.1)</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ・建具表による ・ ()) ・S-5 (建具符号: ・建具表による ・ ()) ・S-6 (建具符号: ・建具表による ・ ())</p> <p>(5.4.2) (5.2.2)</p> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 (T-) 建具符号 ※建具表による ・ () ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 (H-) 建具符号 ※建具表による ・ ()</p> <p>(5.4.2)</p> <p>・耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級 (D-) 建具符号 ※建具表による ・ ()</p> <p>(5.4.4) (表5.4.2)</p> <p>鋼板類の厚さ ※【表5.4.2】による 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は、有効高さが2.400mmを超える場合を除く。 ・図示 ・ () くつずりの仕上げ ※H L ・ ()</p>	<p>(5.7.2)</p> <p>※F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒドの放散量表示がない場合) ※非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 MDFの表面材の状態による区分 () MDFの曲げ強さによる区分 () MDFの耐水性による区分 () MDFの難燃性による区分 ()</p> <p>(5.7.3) (表5.7.6)</p> <table border="1"> <tr><th>合板の種類</th><th>規格等</th><th>厚さ (mm)</th></tr> <tr><td>・普通合板</td><td>表面の樹種 () 板面の品質 ※広葉樹1等 接着の程度 (・1類 ・2類)</td><td>※2.5以上 ・ ()</td></tr> <tr><td>・天然木 化粧合板</td><td>樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)</td><td>※3.2以上 ・ ()</td></tr> <tr><td>・特殊加工 化粧合板</td><td>化粧加工の方法 (・オーバ-レイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () 接着の程度 (・1類 ・2類)</td><td>※2.4以上 ・ ()</td></tr> </table> <p>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上</p>	合板の種類	規格等	厚さ (mm)	・普通合板	表面の樹種 () 板面の品質 ※広葉樹1等 接着の程度 (・1類 ・2類)	※2.5以上 ・ ()	・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)	※3.2以上 ・ ()	・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバ-レイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () 接着の程度 (・1類 ・2類)	※2.4以上 ・ ()
		種類	材種	線径	網目																														
・防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18																																
	・ガラス繊維入り合成樹脂製	・ ()	メッシュ																																
	・ステンレス (SUS316) 製	・ ()	・ ()																																
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm																																
合板の種類	規格等	厚さ (mm)																																	
・普通合板	表面の樹種 () 板面の品質 ※広葉樹1等 接着の程度 (・1類 ・2類)	※2.5以上 ・ ()																																	
・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)	※3.2以上 ・ ()																																	
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバ-レイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () 接着の程度 (・1類 ・2類)	※2.4以上 ・ ()																																	
⑤	① 改修工法 (5.1.3)	<table border="1"> <tr><th>建具の種類</th><th>改修工法</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける</td><td>・建具表による ・ ()</td></tr> <tr><td>・樹脂製建具</td><td>・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける</td><td>・建具表による ・ ()</td></tr> <tr><td rowspan="2">・鋼製建具</td><td>・外部 ・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける</td><td>・建具表による ・ ()</td></tr> <tr><td>・内部 ・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける</td><td>・建具表による ・ ()</td></tr> <tr><td>○鋼製軽量建具</td><td>・かぶせ工法 ○撤去工法 ・新規に取り付ける</td><td>○建具表による ・ ()</td></tr> <tr><td>・ステンレス製建具</td><td>・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける</td><td>・建具表による ・ ()</td></tr> </table> <p>(新規に建具を設ける場合) 壁部分の開口の開け方 ※図示 ・ () 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・ ()</p>	建具の種類	改修工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()	・樹脂製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()	・鋼製建具	・外部 ・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()	・内部 ・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()	○鋼製軽量建具	・かぶせ工法 ○撤去工法 ・新規に取り付ける	○建具表による ・ ()	・ステンレス製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()	<p>3 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.4)</p> <p>樹脂製建具の性能値等性能等級 ・耐風圧性 (S-) 気密性 (A-) 水密性 (W-) 枠の見込み寸法 ・ () mm</p> <p>(表5.3.1)</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による ・ ()) ・B種 (建具符号: ・建具表による ・ ()) ・C種 (建具符号: ・建具表による ・ ()) (A~C種における) 枠の見込み寸法 ・ () mm</p> <p>(5.3.2)</p> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) 建具符号: ・建具表による ・ ()</p> <p>(5.3.2)</p> <p>・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) 建具符号: ・建具表による ・ ()</p> <p>(5.3.2)</p> <p>日射熱取得性の等級 (N-) ()</p>	<p>(5.5.3)</p> <p>鋼板類の種類 ○亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 (※SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1) ・ ()</p> <p>召合せ、縦小口組み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材 戸の充填材 (防音性能を求める場合) ・グラスウール ・ロックウール</p> <p>(5.5.4) (表5.5.1)</p> <p>鋼板類の厚さ ※【表5.5.1】による 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は、有効高さが2.400mmを超える場合を除く。 ・図示による くつずりの仕上げ ※H L ・ ()</p>	<p>(5.7.2)</p> <p>・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ ()</p> <p>(5.7.2) (表5.7.7) (表5.7.3)</p> <p>・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) ふすまの上張り ・鳥の子 ・新鳥の子程度 ・ビニル紙程度 押入等の裏側 ※雲花紙程度 ・ () 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・ () 縁の仕上の種別 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (化粧用) ・塗装</p> <p>(5.7.2) (表5.7.2) (表5.7.3)</p> <p>・戸ぶすま 材料 ・普通合板 ・化粧合板 (・天然木 ・特殊加工) ・MDF 張りの種別 (・I型 ・II型) ふすまの上張り ・鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙程度 押入等の裏側 ※雲花紙程度 ・ () 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ()</p> <p>(5.7.2) (表5.7.7)</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ()</p>										
建具の種類	改修工法	適用箇所																																	
・アルミニウム製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()																																	
・樹脂製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()																																	
・鋼製建具	・外部 ・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()																																	
	・内部 ・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()																																	
○鋼製軽量建具	・かぶせ工法 ○撤去工法 ・新規に取り付ける	○建具表による ・ ()																																	
・ステンレス製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法 ・新規に取り付ける	・建具表による ・ ()																																	
	(5.1.4)	<p>防火戸の指定 ・有 適用箇所 (・建具表による ・ ()) ・無</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸の連動 適用箇所 (・建具表による ・ ()) ・ヒューズ装置 ・熱感知器 ・煙感知器</p>	<p>(5.3.2)</p> <p>(5.3.2)</p> <p>(5.2.3)</p> <p>(5.3.4)</p> <p>(5.3.3) (5.8.1) (5.8.2) (表5.8.1) (5.2.4)</p>	<p>(5.6.3) (5.6.4)</p> <p>(5.6.5)</p> <p>(5.6.2) (表5.4.1) (表5.2.1)</p>	<p>⑧ 建具用金物 (5.8.2) (表5.8.1)</p>	<p>金物の種類及び見え掛り部の材質 ※【表5.8.1】による ・ () 建具の形式に応じた金物の種類及び見え掛り部の材質 金物の種類 () 見え掛り部の材質 () 開き戸 (図示によらない場合) ・シリンダー箱錠 ・握り玉 ・レバーハンドル (レバーハンドルの材質) ※アルミニウム合金製 ・ステンレス製 ・黄銅製 ・本締り錠 錠前類 (シリンダー箱錠及び本締り錠の場合) シリンダーサイド ※外側シリンダー、内側サムターン () 耐じん性能 ・グレード2 ・グレード1 ・適用外 実用性能項目 (鋼製建具、鋼製軽量建具を除く) ・ () ・グレード3以上</p> <p>・空錠 ・握り玉 ・レバーハンドル ※アルミニウム合金製 ・ステンレス製 ・黄銅製 ・グレモン錠 (レバーハンドルの材質) ※垂鉛合金製 ・ステンレス製</p>																													
概要		設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201 1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号 1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	工事名称 市立上溝中学校給食配膳室修繕 図面名称 改修特記仕様書(5)	縮尺 A1:N.S. A3:N.S.	図面番号 改特-O5																								

<p>⑩ 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)</p>	<p>・ピボットヒンジ (カバー部の材質) ※ステンレス製 ・亜鉛合金製</p> <p>・自閉装置付き軸吊りヒンジ</p> <p>・フロアヒンジ</p> <p>・ヒンジクローザー (丁番形)</p> <p>・ヒンジクローザー (ピボット形)</p> <p>・ドアクローザー (ディレードアクション (遅延閉) 機能付き) (閉鎖順位調整器の材質) ※ステンレス製 ・鋼製</p> <p>・押棒、押板 (材質) ・ステンレス製 ・黄銅製 ・合成樹脂製</p> <p>・フランス落し (材質) ※亜鉛合金製 ・ステンレス製</p> <p>・アームストッパー (材質) ※鋼製 (クロムめっき) ・ステンレス製</p> <p>・戸当り (あおり止め (フック) 付き) (材質) ※亜鉛合金製 ・ステンレス製 ・黄銅製</p> <p>引戸 (図示によらない場合)</p> <p>・クレセント</p> <p>木製建具の場合の引手類の材質</p> <p>※ステンレス製 ・黄銅製</p> <p>レール (上吊りの場合を除く。)の材質</p> <p>※ステンレス製 ・アルミニウム合金製 ・黄銅製</p> <p>(5.8.2)</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数と大きさ</p> <p>※【表5.8.2】による ・ ()</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数と大きさ</p> <p>※【表5.8.3】による ・ ()</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数と大きさ</p> <p>※【表5.8.4】による ・ ()</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール</p> <p>※【表5.8.5】による ・ ()</p> <p>(5.8.3)</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>○建具表による ・ ()</p> <p>(5.8.4)</p> <p>マスターキー</p> <p>・製作する ・製作しない ○既存のマスターキーに合わせる</p> <p>鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) ・ ()</p> <p>鍵箱 ※有り ・無し</p> <p>9 自動ドア開閉装置 (5.9.2)</p> <table border="1" data-bbox="329 1052 777 1539"> <tr> <th colspan="3">自動ドア開閉装置の駆動装置及び検出装置の種類と性能</th> </tr> <tr> <th>駆動装置の種類</th> <th>検出装置の種類</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>・SSLD-1 (表5.9.1)</td> <td>・光線 (反射) センサー</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・SSLD-2 (表5.9.2)</td> <td>・熱線センサー</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・DSL D-1 (表5.9.3)</td> <td>・音波センサー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・DSL D-2 (表5.9.4)</td> <td>・光電センサー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・多機能トイレイ</td> <td>・電波センサー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置される引き戸</td> <td>・タッチスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・図示</td> <td>・押しボタンスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ペダルスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・車椅子使用者用便房スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">駆動装置の性能</th> <th>検出装置の性能</th> </tr> <tr> <td colspan="2">SSLD-1～DSL S-2の場合</td> <td>※【表5.9.3】による</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※【表5.9.1】による</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td colspan="2">車椅子使用者用便房に設置される引き戸の場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">※【表5.9.2】による</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">凍結防止 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">車椅子使用者用便房の開閉スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ</td> <td></td> </tr> </table>	自動ドア開閉装置の駆動装置及び検出装置の種類と性能			駆動装置の種類	検出装置の種類	適用部位	・SSLD-1 (表5.9.1)	・光線 (反射) センサー	・図示	・SSLD-2 (表5.9.2)	・熱線センサー	・ ()	・DSL D-1 (表5.9.3)	・音波センサー		・DSL D-2 (表5.9.4)	・光電センサー		・多機能トイレイ	・電波センサー		設置される引き戸	・タッチスイッチ		・図示	・押しボタンスイッチ			・ペダルスイッチ			・車椅子使用者用便房スイッチ			・図示		駆動装置の性能		検出装置の性能	SSLD-1～DSL S-2の場合		※【表5.9.3】による	※【表5.9.1】による		・図示	車椅子使用者用便房に設置される引き戸の場合			※【表5.9.2】による			・図示			凍結防止 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない			車椅子使用者用便房の開閉スイッチ			・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ			<p>11 重量シャッター (5.11.2)</p> <p>(5.11.3)</p> <p>12 軽量シャッター (5.12.2)</p> <p>(5.12.3)</p> <p>(5.12.4)</p> <p>13 オーバーヘッドドア (5.13.2)</p> <p>(5.13.3)</p> <p>⑭ ガラス (5.14.2)</p> <p>(5.14.3)</p> <p>(5.14.4)</p>	<table border="1" data-bbox="1026 96 1472 222"> <tr> <th>シャッターの種類</th> <th>設置場所等</th> </tr> <tr> <td>・管理用シャッター</td> <td>※図示 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・外壁用防火シャッター</td> <td>※図示 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・屋内用防火シャッター</td> <td>※図示 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・屋内用防煙シャッター</td> <td>※図示 ・ ()</td> </tr> </table> <p>耐風圧強度 (管理用シャッター、外壁用防火シャッターの場合)</p> <p>・耐風圧強度 () Pa</p> <p>開閉機能による種類 ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式</p> <p>急降下制動装置、急降下停止装置等の設置箇所</p> <p>※図示 ・ ()</p> <p>障害物感知装置 (自動閉鎖型) の設置箇所</p> <p>※図示 ・ ()</p> <p>屋内用防火 (防煙) シャッターに設ける危害防止機構の適用</p> <p>障害物感知装置 ※適用する ・適用しない</p> <p>可動座板式 ・適用する ・適用しない</p> <p>防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件</p> <p>※適用する ・適用しない</p> <p>危害防止機構の設置箇所 ※図示 ・ ()</p> <p>管理用シャッターケースの設置</p> <p>・設ける ・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)</p> <p>めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="1026 730 1472 806"> <tr> <th>開閉形式</th> <th>設置場所等</th> </tr> <tr> <td>※手動式</td> <td>※図示 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・上部電動式 (手動併用)</td> <td>※図示 ・ ()</td> </tr> </table> <p>耐風圧強度</p> <p>・50N/m² (500Pa) ・65N/m² (650Pa) ・ ()</p> <p>急降下停止装置等の設置箇所</p> <p>※図示 ・ ()</p> <p>スラットの材質</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっき付着量 (※Z06又はF06 ・ ()</p> <p>・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっき付着量 (※AZ90 ・ ()</p> <p>スラットの形状</p> <p>・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p> <p>障害物感知装置 (自動閉鎖型) の設置箇所</p> <p>※図示 ・ ()</p> <p>設置箇所 ※図示 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="1026 1192 1472 1339"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧区分 (Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・125</td> <td>※ハランス式</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>・ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・75</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50</td> <td>・パネチカル形</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>障害物感知装置 (自動閉鎖型) の設置箇所</p> <p>※図示 ・ ()</p> <p>・フロート板ガラス 施工箇所 ・図示 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="1026 1436 1472 1512"> <tr> <th>品種</th> <th>呼び厚</th> </tr> <tr> <td>・フロート板ガラス</td> <td>・4mm ・5mm ・6mm ・図示</td> </tr> <tr> <td>・磨き板ガラス</td> <td>・2mm ・3mm ・5mm ・図示</td> </tr> </table> <p>・型板ガラス 施工箇所 ・図示 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="1026 1562 1472 1612"> <tr> <th>品種</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・2mm ・3mm ・4mm ・5mm ・6mm</td> </tr> </table> <p>・網入板ガラス及び線入板ガラス 施工箇所 ・図示 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="1026 1663 1472 1780"> <tr> <th>板の表面の状態</th> <th>厚さの呼び</th> <th>網又は線の形状</th> </tr> <tr> <td>・網入磨き板ガラス</td> <td>・6.8mm ・10mm</td> <td>・かく網入</td> </tr> <tr> <td>・網入型板ガラス</td> <td>・図示</td> <td>・ひし網入</td> </tr> <tr> <td>・線入磨き板ガラス</td> <td>・6.8mm ・10mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・線入型板ガラス</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table>	シャッターの種類	設置場所等	・管理用シャッター	※図示 ・ ()	・外壁用防火シャッター	※図示 ・ ()	・屋内用防火シャッター	※図示 ・ ()	・屋内用防煙シャッター	※図示 ・ ()	開閉形式	設置場所等	※手動式	※図示 ・ ()	・上部電動式 (手動併用)	※図示 ・ ()	セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ	・125	※ハランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形			・50	・パネチカル形			品種	呼び厚	・フロート板ガラス	・4mm ・5mm ・6mm ・図示	・磨き板ガラス	・2mm ・3mm ・5mm ・図示	品種	厚さ	・型板ガラス	・2mm ・3mm ・4mm ・5mm ・6mm	板の表面の状態	厚さの呼び	網又は線の形状	・網入磨き板ガラス	・6.8mm ・10mm	・かく網入	・網入型板ガラス	・図示	・ひし網入	・線入磨き板ガラス	・6.8mm ・10mm		・線入型板ガラス	・図示		<p>・合わせガラス 施工箇所 ・図示 ・ ()</p> <p>厚さの組み合わせ (+) mm 合計厚さ () mm</p> <table border="1" data-bbox="1495 151 2163 344"> <tr> <th>材料板ガラスの種類</th> <th>厚さ</th> <th>特性による種類</th> </tr> <tr> <td>・フロート板ガラス及び磨き板ガラス</td> <td>・ ()</td> <td>・ I 類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・ ()</td> <td>・ II-1類</td> </tr> <tr> <td>・網入板ガラス及び線入板ガラス</td> <td>・ ()</td> <td>・ II-2類</td> </tr> <tr> <td>・強化ガラス</td> <td>・ ()</td> <td>・ III類</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収板ガラス</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線反射ガラス</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・倍強度ガラス</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>○強化ガラス</p> <p>平面強化ガラス 施工箇所 ○図示 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="1495 415 2163 583"> <tr> <th>材料板ガラスの種類</th> <th>厚さの呼び</th> <th>特性による種類</th> </tr> <tr> <td>○型板強化ガラス</td> <td>○4mm</td> <td>・ I 類</td> </tr> <tr> <td>○フロート強化ガラス</td> <td>○4mm</td> <td>○III類</td> </tr> <tr> <td>・熱線反射強化ガラス</td> <td>・6mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・8mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・10mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・12mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>・曲面強化ガラス 施工箇所 ・図示 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="1495 634 2163 760"> <tr> <th>材料板ガラスの種類</th> <th>厚さの呼び</th> <th>特性による種類</th> </tr> <tr> <td>フロート強化ガラス</td> <td>・5mm</td> <td>・ I 類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・6mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・8mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>・熱線吸収板ガラス 施工箇所 ・図示 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="1495 810 2163 1003"> <tr> <th>板ガラスによる種類</th> <th>厚さ</th> <th>性能による種類</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・5mm</td> <td>・ 1 種</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収磨き板ガラス</td> <td>・6mm</td> <td>・ 2 種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・8mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入磨き板ガラス</td> <td>・6.8mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収線入磨き板ガラス</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入型板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・複層ガラス 施工箇所 ・図示 ・ ()</p> <p>厚さの組み合わせ (+ +) mm 合計厚さ () mm</p> <table border="1" data-bbox="1495 1075 2163 1318"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>厚さ</th> <th>封入気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・フロート板ガラス及び磨き板ガラス</td> <td>・</td> <td>※封入空気</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・</td> <td>・アルゴン</td> </tr> <tr> <td>・網入板ガラス及び線入板ガラス</td> <td>・</td> <td>・クリプトン</td> </tr> <tr> <td>・合わせガラス</td> <td>・</td> <td>・ネオン</td> </tr> <tr> <td>・強化ガラス</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収板ガラス</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線反射ガラス</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・倍強度ガラス</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐熱強化ガラス</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>断熱性による区分</p> <p>・ T 1 ・ T 2 ・ T 3 ・ T 4 ・ T 5 ・ T 6</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <p>・ G ・ S</p> <p>・熱線反射ガラス</p> <table border="1" data-bbox="1495 1465 2163 1659"> <tr> <th>材料板ガラスの種類</th> <th>厚さ</th> <th>日射熱遮へい性</th> </tr> <tr> <td>・フロート板ガラス及び磨き板ガラス</td> <td>・6mm</td> <td>・ 1 種</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス及び熱線吸収磨き板ガラス</td> <td>・8mm</td> <td>・ 2 種</td> </tr> <tr> <td>・平面強化ガラス</td> <td>・10mm</td> <td>・ 3 種</td> </tr> <tr> <td>・倍強度ガラス</td> <td>・12mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>反射被膜面 ・内面 ・外面</p> <p>・倍強度ガラス</p> <table border="1" data-bbox="1495 1730 2163 1806"> <tr> <th>材料板ガラスの種類</th> <th>厚さの呼び</th> </tr> <tr> <td>・フロート倍強度ガラス</td> <td>・6mm ・8mm</td> </tr> <tr> <td>・熱線反射倍強度ガラス</td> <td>・10mm ・12mm</td> </tr> </table>	材料板ガラスの種類	厚さ	特性による種類	・フロート板ガラス及び磨き板ガラス	・ ()	・ I 類	・型板ガラス	・ ()	・ II-1類	・網入板ガラス及び線入板ガラス	・ ()	・ II-2類	・強化ガラス	・ ()	・ III類	・熱線吸収板ガラス	・ ()		・熱線反射ガラス	・ ()		・倍強度ガラス	・ ()		材料板ガラスの種類	厚さの呼び	特性による種類	○型板強化ガラス	○4mm	・ I 類	○フロート強化ガラス	○4mm	○III類	・熱線反射強化ガラス	・6mm			・8mm			・10mm			・12mm		材料板ガラスの種類	厚さの呼び	特性による種類	フロート強化ガラス	・5mm	・ I 類		・6mm			・8mm			・図示		板ガラスによる種類	厚さ	性能による種類	・熱線吸収フロート板ガラス	・5mm	・ 1 種	・熱線吸収磨き板ガラス	・6mm	・ 2 種		・8mm			・図示		・熱線吸収網入磨き板ガラス	・6.8mm		・熱線吸収線入磨き板ガラス	・図示		・熱線吸収網入型板ガラス			材料板ガラスによる種類	厚さ	封入気体の種類	・フロート板ガラス及び磨き板ガラス	・	※封入空気	・型板ガラス	・	・アルゴン	・網入板ガラス及び線入板ガラス	・	・クリプトン	・合わせガラス	・	・ネオン	・強化ガラス	・		・熱線吸収板ガラス	・		・熱線反射ガラス	・		・倍強度ガラス	・		・耐熱強化ガラス	・		材料板ガラスの種類	厚さ	日射熱遮へい性	・フロート板ガラス及び磨き板ガラス	・6mm	・ 1 種	・熱線吸収フロート板ガラス及び熱線吸収磨き板ガラス	・8mm	・ 2 種	・平面強化ガラス	・10mm	・ 3 種	・倍強度ガラス	・12mm		材料板ガラスの種類	厚さの呼び	・フロート倍強度ガラス	・6mm ・8mm	・熱線反射倍強度ガラス	・10mm ・12mm	<p>15 ガラスブロック (5.14.5)</p> <p>⑥ 内装改修工事</p> <p>① 他の部位との取合い等 (6.1.3)</p>	<p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1" data-bbox="2418 121 2864 315"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm) (面クリアランス、エッジクリアランス及び係り代)</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製</td> <td>・カスケット</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ケレージング</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・円筒形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>○鋼製及び鋼製軽量</p> <p>○シーリング材</p> <p>※建具の製造所の仕様による</p> <p>・ ()</p> <p>・図示 ・ ()</p> <p>・ステンレス製</p> <p>・シーリング材</p> <p>※建具の製造所の仕様による</p> <p>・ ()</p> <p>・図示 ・ ()</p> <p>ガラス留めに使用するシーリング材</p> <table border="1" data-bbox="2418 436 2864 512"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>○ガラス留め材</td> <td>○ (SR-1)</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>ガラス留めに使用するガスケット</p> <p>※グレイジングチャンネル ・ ()</p> <p>表面形状 呼び寸法及び厚さ (mm)</p> <table border="1" data-bbox="2418 604 2864 680"> <tr> <th>形状</th> <th>寸法</th> </tr> <tr> <td>・正方形</td> <td>・125×125×80 ・160×160×95 ・160×160×125</td> </tr> <tr> <td>・長方形</td> <td>・200×200×95 ・200×200×125 ・320×320×95</td> </tr> <tr> <td>・長方形</td> <td>・250×125×80 ・320×160×95</td> </tr> </table> <p>色調 ・クリア ・乳白</p> <p>防火性能 ※無し ・有り</p> <p>カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()</p> <p>寸法 ※径5.5mm ・ ()</p> <p>形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ ()</p> <p>シーリング材</p> <table border="1" data-bbox="2418 856 2864 932"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>・伸縮調整目地</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製</p> <p>寸法 ・図示 ・ ()</p> <p>形状 ・図示 ・ ()</p> <p>壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示 ・ ()</p> <p>・設けない</p> <p>工法 (建築基準法に基づく風圧力に対応) ()</p> <p>ガラスブロックの目地幅の寸法</p> <p>平積みの場合の目地幅 ※8～15mm ・ ()</p> <p>曲面積みの場合の目地幅 ・ ()</p> <p>※曲率半径をガラスブロックの幅寸法の10倍以上とし、外側15mm以下、内側6mm以上とする。</p> <p>伸縮調整目地の位置 ・ ()</p> <p>※6m以下ごとに10～25mm</p> <p>目地部のカ骨の補強方法</p> <p>※製造所の仕様による。</p> <p>・ ()</p> <p>既存開仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲</p> <p>※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う</p> <p>○図示による</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲</p> <p>※壁面から両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う</p> <p>○図示による</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修</p> <p>※既存のまま ○ 図示</p>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm) (面クリアランス、エッジクリアランス及び係り代)	・アルミニウム製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による	・樹脂製	・カスケット	・図示		・ケレージング	・ ()		・円筒形			・ ()		施工箇所	シーリング材の種類	○ガラス留め材	○ (SR-1)	・ ()	・ ()	形状	寸法	・正方形	・125×125×80 ・160×160×95 ・160×160×125	・長方形	・200×200×95 ・200×200×125 ・320×320×95	・長方形	・250×125×80 ・320×160×95	施工箇所	シーリング材の種類	・伸縮調整目地	・ ()	・ ()	・ ()	<p>図面番号</p> <p>改特-O 6</p>
自動ドア開閉装置の駆動装置及び検出装置の種類と性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
駆動装置の種類	検出装置の種類	適用部位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・SSLD-1 (表5.9.1)	・光線 (反射) センサー	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・SSLD-2 (表5.9.2)	・熱線センサー	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・DSL D-1 (表5.9.3)	・音波センサー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・DSL D-2 (表5.9.4)	・光電センサー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・多機能トイレイ	・電波センサー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設置される引き戸	・タッチスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・図示	・押しボタンスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ペダルスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・車椅子使用者用便房スイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
駆動装置の性能		検出装置の性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
SSLD-1～DSL S-2の場合		※【表5.9.3】による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※【表5.9.1】による		・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
車椅子使用者用便房に設置される引き戸の場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※【表5.9.2】による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
凍結防止 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
車椅子使用者用便房の開閉スイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
シャッターの種類	設置場所等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・管理用シャッター	※図示 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・外壁用防火シャッター	※図示 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・屋内用防火シャッター	※図示 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・屋内用防煙シャッター	※図示 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
開閉形式	設置場所等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※手動式	※図示 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・上部電動式 (手動併用)	※図示 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※スチールタイプ	・125	※ハランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・50	・パネチカル形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
品種	呼び厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・フロート板ガラス	・4mm ・5mm ・6mm ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・磨き板ガラス	・2mm ・3mm ・5mm ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
品種	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・型板ガラス	・2mm ・3mm ・4mm ・5mm ・6mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
板の表面の状態	厚さの呼び	網又は線の形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・網入磨き板ガラス	・6.8mm ・10mm	・かく網入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・網入型板ガラス	・図示	・ひし網入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・線入磨き板ガラス	・6.8mm ・10mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・線入型板ガラス	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料板ガラスの種類	厚さ	特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・フロート板ガラス及び磨き板ガラス	・ ()	・ I 類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・型板ガラス	・ ()	・ II-1類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・網入板ガラス及び線入板ガラス	・ ()	・ II-2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・強化ガラス	・ ()	・ III類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・熱線吸収板ガラス	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・熱線反射ガラス	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・倍強度ガラス	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料板ガラスの種類	厚さの呼び	特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○型板強化ガラス	○4mm	・ I 類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○フロート強化ガラス	○4mm	○III類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・熱線反射強化ガラス	・6mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・8mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・10mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・12mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料板ガラスの種類	厚さの呼び	特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
フロート強化ガラス	・5mm	・ I 類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・6mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・8mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
板ガラスによる種類	厚さ	性能による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・熱線吸収フロート板ガラス	・5mm	・ 1 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・熱線吸収磨き板ガラス	・6mm	・ 2 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・8mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・熱線吸収網入磨き板ガラス	・6.8mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・熱線吸収線入磨き板ガラス	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・熱線吸収網入型板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材料板ガラスによる種類	厚さ	封入気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・フロート板ガラス及び磨き板ガラス	・	※封入空気																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・型板ガラス	・	・アルゴン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・網入板ガラス及び線入板ガラス	・	・クリプトン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・合わせガラス	・	・ネオン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・強化ガラス	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・熱線吸収板ガラス	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・熱線反射ガラス	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・倍強度ガラス	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・耐熱強化ガラス	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料板ガラスの種類	厚さ	日射熱遮へい性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・フロート板ガラス及び磨き板ガラス	・6mm	・ 1 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・熱線吸収フロート板ガラス及び熱線吸収磨き板ガラス	・8mm	・ 2 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・平面強化ガラス	・10mm	・ 3 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・倍強度ガラス	・12mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料板ガラスの種類	厚さの呼び																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・フロート倍強度ガラス	・6mm ・8mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・熱線反射倍強度ガラス	・10mm ・12mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm) (面クリアランス、エッジクリアランス及び係り代)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・アルミニウム製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・樹脂製	・カスケット	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ケレージング	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・円筒形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ガラス留め材	○ (SR-1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
形状	寸法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・正方形	・125×125×80 ・160×160×95 ・160×160×125																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・長方形	・200×200×95 ・200×200×125 ・320×320×95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・長方形	・250×125×80 ・320×160×95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・伸縮調整目地	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>概要</p>	<p>設計年月日</p> <p>R8.03</p>	<p>変更年月日</p>	<p>検印</p>	<p>設計</p>	<p>製図</p>	<p>有限会社 北山建築設計事務所</p> <p>KITAYAMA Architectural Engineering Office</p> <p>TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344</p>	<p>〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201</p> <p>1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号</p> <p>1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸</p>	<p>工事名称</p> <p>市立上溝中学校給食配膳室修繕</p> <p>図面名称</p> <p>改修特記仕様書(6)</p>	<p>縮尺</p> <p>A1:N.S.</p> <p>A3:N.S.</p>	<p>図面番号</p> <p>改特-O 6</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

⑥ 内装 改修 工事	② 既存床、壁及び天井の 撤去及び下地補修 (6.2.2)	○既存の床の撤去 ・ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤共) ・下地モルタル共(・図示 ・除去範囲全て) ・合成樹脂塗床材の除去 工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 ○フローリング張り床材の撤去 ・床タイルの撤去 ・床組の撤去 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・()	3 造作用集成材 (6.5.2)	・「JAS 1152(集成材)」による造作用集成材 施工箇所() 単板の樹種() 寸法() <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・造作用集成材</td> <td>・1面</td> <td>※1等</td> </tr> <tr> <td>・造作用集成材</td> <td>・2面</td> <td>・2等</td> </tr> <tr> <td>(未仕上げ)</td> <td>・3面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・造作用集成材(塗装)</td> <td>・4面</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・「JAS 1152(集成材)」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所() 寸法() 樹種 化粧薄板() 芯材() 化粧薄板の厚さ() <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・化粧ばり造作用集成材</td> <td>・1面</td> <td>※1等</td> </tr> <tr> <td>・化粧ばり造作用集成材(塗装)</td> <td>・2面</td> <td>・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・3面</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・4面</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・「JAS 1152(集成材)」以外の造作用集成材 施工箇所() 施工箇所及び樹種() 寸法() 見付け材面の品質 含水率 ・() ※15%以下 ・()	品名	見付け材面数	見付け材面の品質	・造作用集成材	・1面	※1等	・造作用集成材	・2面	・2等	(未仕上げ)	・3面		・造作用集成材(塗装)	・4面		品名	見付け材面数	見付け材面の品質	・化粧ばり造作用集成材	・1面	※1等	・化粧ばり造作用集成材(塗装)	・2面	・2等		・3面			・4面		⑥ 合板等 (6.5.2)	・「JAS 0233(合板)」に規定する下地用合板(普通合板) 施工箇所() 単板の樹種() <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>厚さ</th> <th>板面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td> <td>※5.5mm ・()</td> <td>(広葉樹) ・1等 ※2等以上 (針葉樹) ※C-D以上 ・()</td> </tr> </tbody> </table> 接着の程度 ・I類 ・II類 (常時湿潤状態の場所) ※I類 防虫処理 ・行う ・行わない ※F☆☆☆☆ ・() ○「JAS 0233(合板)」に規定する下地用合板(構造用合板) 施工箇所(図示) 単板の樹種(針葉樹) <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>厚さ</th> <th>板面の品質</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○構造用合板</td> <td>※12mm ○(24mm)</td> <td>(広葉樹) ・1等 ※2等以上 (針葉樹) ※C-D以上 ・()</td> <td>・1級 ○2級</td> </tr> </tbody> </table> 接着の程度 ○特類 ・I類 (常時湿潤状態の場所) ※特類 保存処理 ・行う (K) ○行わない 防虫処理 ・行う ○行わない ・強度等級の指定 曲げヤング係数(-) 曲げ強さ(-)	品名	厚さ	板面の品質	・普通合板	※5.5mm ・()	(広葉樹) ・1等 ※2等以上 (針葉樹) ※C-D以上 ・()	品名	厚さ	板面の品質	等級	○構造用合板	※12mm ○(24mm)	(広葉樹) ・1等 ※2等以上 (針葉樹) ※C-D以上 ・()	・1級 ○2級	7 接合具等、木れんが (6.5.3)	接合具に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・() 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質 ※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は【表6.5.3~5】により、 コンクリート埋込み部を除き【表8.20.1】のF種程度の処理を 行ったものとする ・()					
		品名		見付け材面数	見付け材面の品質																																																				
・造作用集成材	・1面	※1等																																																							
・造作用集成材	・2面	・2等																																																							
(未仕上げ)	・3面																																																								
・造作用集成材(塗装)	・4面																																																								
品名	見付け材面数	見付け材面の品質																																																							
・化粧ばり造作用集成材	・1面	※1等																																																							
・化粧ばり造作用集成材(塗装)	・2面	・2等																																																							
	・3面																																																								
	・4面																																																								
品名	厚さ	板面の品質																																																							
・普通合板	※5.5mm ・()	(広葉樹) ・1等 ※2等以上 (針葉樹) ※C-D以上 ・()																																																							
品名	厚さ	板面の品質	等級																																																						
○構造用合板	※12mm ○(24mm)	(広葉樹) ・1等 ※2等以上 (針葉樹) ※C-D以上 ・()	・1級 ○2級																																																						
(6.3.2)	・既存壁の撤去 ・既存のコンクリート間仕切壁等の撤去 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※【4.3.10】によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ・行う ・行わない) ・() ・既存の木製、軽量鉄骨間仕切壁等の撤去 ・既存の壁下地材、下地張りボード等を残し既存の仕上材を撤去 ・既存のモルタル、タイル、布地、壁紙等を撤去	・「JAS 1152(集成材)」以外の造作用集成材 施工箇所() 施工箇所及び樹種() 寸法() 見付け材面の品質 含水率 ・() ※15%以下 ・()	・「JAS 0233(合板)」に規定する化粧ばり構造用合板 施工箇所() 単板の樹種() 品名() 厚さ() 接着の程度 ・特類 ・I類 (常時湿潤状態の場所) ※特類 防虫処理 ・行う ・行わない	7 接合具等、木れんが (6.5.3)	接合具に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・() 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質 ※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は【表6.5.3~5】により、 コンクリート埋込み部を除き【表8.20.1】のF種程度の処理を 行ったものとする ・()																																																				
⑥-1 内装 改修 工事 木下地等	① 材料 (6.5.2)	材料のホルムアルデヒド拡散量等 ※「F☆☆☆☆」又はホルムアルデヒド放散量表示が無い場合、 塗装していないものは「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」 塗装したものは「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルム アルデヒドを拡散しない塗料使用」、化粧加工したものは 「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散 しない材料使用」とする ・部位()ホルムアルデヒド拡散量()	4 造作用単板積層材 (6.5.2)	・「JAS 1152(集成材)」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所() 寸法() 樹種 化粧薄板() 芯材() 化粧薄板の厚さ() 見付け材面の品質 含水率 ・() ※15%以下 ・()	⑥-2 内装 改修 工事 軽量 鉄骨 天井 下地	7 接合具等、木れんが (6.5.4)	木れんがの接着工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・()																																																		
		2 製材 (6.5.2)		・JAS 1083-5(製材-第5部:下地用製材)による下地用製材 施工箇所() 樹種() 寸法() <table border="1"> <thead> <tr> <th>材面の品質</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1級</td> <td>・耳付材</td> <td>・18%以下</td> <td>・有(K)</td> </tr> <tr> <td>※2級</td> <td>・押角</td> <td>・15%以下</td> <td>・無</td> </tr> </tbody> </table> ・JAS 1083-2(製材-第2部:造作用製材)による造作用製材 施工箇所() 樹種() 寸法() <table border="1"> <thead> <tr> <th>材面の品質</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・上小節</td> <td>・板類</td> <td>・18%以下</td> <td>・有(K)</td> </tr> <tr> <td>・小節</td> <td>・角類</td> <td>・15%以下</td> <td>・無</td> </tr> <tr> <td>・無節</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・並</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※板類における等級 杓、額縁、敷居、かまこ、かまの類の見え掛り面は、上小節 それ以外は、小節 ・JAS 1083-6(製材-第6部:広葉樹製材)による広葉樹製材 施工箇所() 樹種() 寸法() <table border="1"> <thead> <tr> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・特等</td> <td>・13%以下</td> <td>・有(K)</td> </tr> <tr> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td>・無</td> </tr> <tr> <td>・2等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 等級による材面の品質の基準以外の要求品質 ・()		材面の品質	形状	含水率	保存処理	・1級	・耳付材	・18%以下	・有(K)	※2級	・押角	・15%以下	・無	材面の品質	形状	含水率	保存処理	・上小節	・板類	・18%以下	・有(K)	・小節	・角類	・15%以下	・無	・無節				・並				材面の品質	含水率	保存処理	・特等	・13%以下	・有(K)	※1等	※10%以下	・無	・2等			・「JAS 0701(単板積層材)」に規定する造作用単板積層材 施工箇所() 寸法() <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>表面の化粧加工の有無</th> <th>表面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・造作用単板積層材</td> <td>・有り</td> <td>・天然木化粧加工 ・塗装加工</td> </tr> <tr> <td>・造作用単板積層材 (未仕上げ)</td> <td>・無し</td> <td>・1等 ・2等 ・3等</td> </tr> </tbody> </table> 防虫処理 ・行う ・行わない ・「JAS 0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 施工箇所() 寸法() 表面の化粧加工の有無 表面の品質 ・有り ・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・無し ・()	品名	表面の化粧加工の有無	表面の品質	・造作用単板積層材	・有り	・天然木化粧加工 ・塗装加工	・造作用単板積層材 (未仕上げ)
材面の品質	形状	含水率	保存処理																																																						
・1級	・耳付材	・18%以下	・有(K)																																																						
※2級	・押角	・15%以下	・無																																																						
材面の品質	形状	含水率	保存処理																																																						
・上小節	・板類	・18%以下	・有(K)																																																						
・小節	・角類	・15%以下	・無																																																						
・無節																																																									
・並																																																									
材面の品質	含水率	保存処理																																																							
・特等	・13%以下	・有(K)																																																							
※1等	※10%以下	・無																																																							
・2等																																																									
品名	表面の化粧加工の有無	表面の品質																																																							
・造作用単板積層材	・有り	・天然木化粧加工 ・塗装加工																																																							
・造作用単板積層材 (未仕上げ)	・無し	・1等 ・2等 ・3等																																																							
① 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2)	野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 ・() 屋内 ※19形 ・25形 ・() 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 周辺部の端からの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 野縁の間隔(屋外の場合) ・図示 ・()	9 鉄筋コンクリート造 等の内部間仕切軸組 及び床組 (6.5.6)	間仕切軸組に用いる木材 ※杉又は松 ・() 床組に用いる木材 ※杉又は松 ・() 土間スラブの類の土台、転ばし大引き及び転ばし根太に用いる木材 ※ひのき又は保存処理木材 ・()																																																						
② 軽量鉄骨天井下地 (6.6.3)	野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 ・() 屋内 ※19形 ・25形 ・() 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 周辺部の端からの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 野縁の間隔(屋外の場合) ・図示 ・()	10 窓、出入り口その他 床組 (6.5.7)	窓、出入り口その他に用いる木材 吊元杓、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき ・() その他 ※松又は杉 ・()																																																						
		11 床板張り (6.5.8)	縁甲板及び上りがりがまちに用いる木材 ※ひのき ・()																																																						
		12 壁及び天井下地 (6.5.9)	木材 ※杉又は松 ・()																																																						
① 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2)	野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 ・() 屋内 ※19形 ・25形 ・() 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 周辺部の端からの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 野縁の間隔(屋外の場合) ・図示 ・()	11 床板張り (6.5.8)	縁甲板及び上りがりがまちに用いる木材 ※ひのき ・()																																																						
② 軽量鉄骨天井下地 (6.6.3)	野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 ・() 屋内 ※19形 ・25形 ・() 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 周辺部の端からの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 野縁の間隔(屋外の場合) ・図示 ・()	12 壁及び天井下地 (6.5.9)	木材 ※杉又は松 ・()																																																						
① 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2)	野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 ・() 屋内 ※19形 ・25形 ・() 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 周辺部の端からの間隔(屋外の場合) ・図示 ・() 野縁の間隔(屋外の場合) ・図示 ・()	12 壁及び天井下地 (6.5.9)	木材 ※杉又は松 ・()																																																						

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富志正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	改修特記仕様書(7)		改特-07
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	縮尺	A1:N.S. A3:N.S.		

